



吉備中央町

議会だより

第64号

令和3年10月20日発行
発行／岡山県吉備中央町議会
〒716-1192
岡山県加賀郡吉備中央町
豊野1-2
TEL.0866-54-2081
FAX.0866-54-1366
編集／議会広報編集委員会

待ちに待った体育発表会 (吉川小学校)



TOPICS

9月定例会.....	2
11議員が町政を問う.....	3
へそ8バス.....	15

町内巡回バス運行

高規格救急自動車・消防ポンプ自動車購入

9月定例会

9月議会は9月2日開会。報告、条例改正、認定、陳情、請願、発議、3年度補正予算などが上程された。審議の結果、議案は原案どおり可決され、9月17日閉会した。

認定

○令和2年度決算の審査報告

監査委員河内是純氏より決算その他関係書類は、適正に作成されており、その計数は正確であると報告があった。

令和2年度決算特別委員会設置

○丸山○山崎
成田・渡邊・加藤・河上
(○委員長○副委員長)

条例の改正(主なもの)

○バス有償運行に関する条例(令和3年10月1日施行)

行)

町内巡回バス4便が加わる。町内巡回バスの運賃は一律200円。
運賃の改定

きびプラザく岡山医療センター1間650円に、吉備高原口く岡山医療センター1間610円に。

○消防団条例
団員の定数を550人から500人に改める。

その他

○過疎地域持続的発展市町村計画(令和3年度く7年度)

○町有財産取得
消防ポンプ自動車1台

2450万円
東洋ポンプ(株)より購入



命と財産を守る

高規格救急自動車1台
3300万円
岡山トヨタ自動車(株)

一般会計補正予算(主なもの)

○環境衛生費(上水道事業運営負担金)
5000万円

竹谷浄水場の水道水に異臭が発生したため、浄化設備緊急修繕費、水質検査、ミネラルウォーター代など。
○農業振興費(経営継承・発展支援事業補助金)
500万円

○社会教育総務費(小学6年生みんなの絆づくり事業交付金)
530万円

本年は日帰りで行った。青少年自然の家で実施された。

○体育施設費(施設改修工事) 加茂川総合スポーツ公園体育館
130万円

人権擁護委員候補者の推薦

先山 安則(岨谷)

国へもの申す

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を国会及び関係行政庁へ提出した。

- コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
- 新型コロナウイルスによる米の需要改善と米価下落の対策を求める意見書
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書

ここが聞きたい

11議員が一般質問

質問の順番はくじ引きによる

(9月13日)		
ページ	議員名	質問項目
4	渡邊 順子	学力向上における取り組み
5	山本 洋平	小学校、園の適正配置
6	河上真智子	防災対応 新型コロナワクチン接種
7	西山 宗弘	有害鳥獣に対する対策
8	丸山 節夫	農業振興策 町の活性化対策
9	日名 義人	「産廃」問題 地域（農村）政策 「学校再編」検討のあり方
10	石井 壽富	吉備高原都市 企業誘致 有害鳥獣対策

一般質問とは、町の政治行政全般にわたり、町長の方針や見解、説明を求めるものです。

(9月14日)		
ページ	議員名	質問項目
11	山崎 誠	竹谷浄水場水道水の異臭問題 吉備高原都市の活性化 ヤングケアラー
12	黒田 員米	新型コロナ対策 町道の維持管理 放課後児童クラブ
13	成田 賢一	定住促進 SDGsの推進
14	加藤 高志	スーパーシティ構想 イノベーションヒルズ 吉川霊園の運営（埋葬形式）

学力向上への取り組みは

主体的、対話的な深い学びを



渡邊 順子

問

2年ぶりに小6と中3を対象に実施された全国学力テストの結果が出た。全国的にコロナ禍で勉強の遅れや不安などが、文部科学省は、昨年春の一斉休校の期間と正答率を分析し、相関関係はないと結論つけた。岡山県においては、正答率が全国平均と同じであり、全国で小6は15位、中3が16位だった。この順位は、過去最高であ



うまく発表できたかな

る。町では、中学校が1校のため公表はされておらず、小6の結果のみになるが、国語、算数、両教科において全国平均、県平均共に上回っている。算数では県で1位、国語も2位という大変優秀な成績であった。この素晴らしい結果を教育委員会ではどう考え、また各学校において学力向上に向けてどのような取り

組みがなされているのか尋ねる。

答

石井教育長

吉備中央町においては、小6の国語においては全国平均正答率より約4ポイント上回り、算数においては6ポイント上回る結果となった。コロナ禍の暗いニュースが多い中で、久々に子どもたちの頑張りが気持ちが良いニュースとなった。このことは、児童が粘り強く学習に取り組んだことや、子どもたちの状況に応じた教職員の丁寧な指導、保護者の協力の成果だと考える。中学校においては、落ち着いた学習環境下での指導により、力をつけてきている。学校では、児童・生徒が意欲的に学習

に取り組む、主体的、対話的で深い学びにつながるよう、全教職員が一丸となって授業改善を進めている。学ぶ姿勢や挙手の仕方、発表者の発言は最後までしっかり聞くなどの学習規律を徹底することで、子どもたちは意欲を高めることができてきている。

文部科学省が提唱するギガスクール構想の実現に向け整備した、タブレット端末を活用した学習や複数校などに取り組み、児童・生徒は新たな学びに刺激を受けながら、意欲的に学習に取り組んでいる。今後も、教育委員会と学校が連携をし、粘り強く学力向上に向けた取り組みを進めていきたい。

問

2016年に開設された町営塾は中学生にとつて、どのような存在なのか。また、開設当初と現在では何か変化があるのか尋ねる。

答

教育長

中学校での学びに



これでおーとる？

加えて、希望者による町営塾での学習指導もおこなわれている。現在、塾生は2年生が32名、3年生が28名の合計60名。火曜日から金曜日の部活後に、数学や英語を中心に塾講師による熱心な学習指導がおこなわれている。6年目を迎え、試行錯誤の積み重ねの中、次第にいろんな方向性が見えてきて、若い講師の新しい感覚での指導がしっかりとおこなわれているように感じている。今後も中学校との連携をさらに深め、塾の指導内容を充実させ、学力向上につながるよう、助言していきたい。



山本 洋平

問 小学校・園再編の基本方針は

答 今年度中に各地で説明会を

問 答申やアンケート結果をもとに、吉備中央町の特性を活かした、より魅力ある学校や園に再編するため、令和3年1月に「魅力ある学校・園を考える会」を設置し、小学校・こども園の校園数や設置場所について、方向性を決定するために、これまで協議を進めて来た。協議も大詰めを迎えており、指針書が作成され、町長に提出する予定である。

答 「魅力ある学校・園を考える会」の現在までの協議内容を把握しているのか。

山本町長 会議内容については、その都度事務局から書面を交えて説明、報告を受けている。適正配置に関する答申書、そしてもうすぐ提出される指針をしっかりとかんがみ、町長として、将来を担う子どもたちの育成に何がふさわしいかをしっかりと考え、小学校及び園の再編統合を判断したいと考えている。

問 指針が提出されてからの程度のスピード感をもって今後のビジョンを打ち出し、スケジュールを設定していくのか。

答 石井教育長 小学校及び園の統合の校数、位置などの基本方針を議会、教育委員会に提示して、今年度中を目途に各地区での説明会をおこない、並行して学校、園統合基本整備計画の策定を進める。

問 基本計画が議会で承認された後、来年度に教育計画や施設計画、通学路対策、学校名などを審議するそれぞれの部会を立ち上げ、検討していく予定である。

令和7年度の開校を見据えて設備の事業費もかんがみながら、順次取り組んでいきたい。

問 学校の再編は、これからの町づくりの根幹に関わるものと考えられる。町長はリーダーとして、次世代に託す町のビジョンを明確に見据え、リーダー



想いをのせて

シップをとっていく必要があると考えるが。

答 町長 少子化の中、子どもたちの教育環境を整備するためには、統廃合は避けなくては通れないと考え、取り組んでいる。しかし、将来的には子どもを増やしていくことも重要である。広大な面積の町で人口減が進行していくと、町の活力が失われる。若い世代が定住し、子どもたちが集団で切磋琢磨できる魅力ある町にしていきたい。

また、町内各地域に歴史や風土がある。後世に継承し、生まれ育った吉備中央町に帰ってきたいと思える

ような郷土愛を持つ子どもたちを育てられる学校にしていきたい。

問 中学校スクールバス、適正配置後の小学校スクールバス運行経路と、実証運行予定の「へそ8バス」とでは運行経路が異なるように思える。小学校スクールバスの準備には人材と資金と時間が相当必要であることが想像される。どの様に調整、準備をおこなっていくのか。

答 教育長 統合後の小学校のスクールバスは、学校の設置場所によって様々な経路が想定される。また、乗車時間、人数、緊急時の対応など多様な要因が考えられる。小学校の再編統合の方針を決定後、通学路検討部会により、現在の中学校スクールバス、町内巡回交通などを利用する可能性も含めて検討する。

費用削減は重要ではあるが、過度に子どもたちに負担をかけないように、慎重な検討も必要である。

警報発令時の対応は

安全を確保し、状況に応じて



河上真智子

問

答

る。安全面を第一に考えながら、できるだけ就労している保護者にも配慮していきたい。

答

石井教育長

気象情報に注意し安全を第一に状況に合わせて随時対応を判断している。

問

答

コロナ禍では福祉施設は日々の対応にも苦慮されている。急な災害の発生時に福祉避難所として要配慮者を受け入れるだけの対応はできるのか。

答

奥野福祉課長

町内7か所の施設を指定している。開設の際には、医療・介護の専門職を配置し対応することになっている。

問

答

自閉症を含む発達障害のある方々には

どのような配慮がなされているのか。

答

福祉課長

福祉避難所を利用し、できる限り個室で対応できるように配慮したい。

問

答

また、必要な配慮や避難場所、支援者などを含む災害時の避難プランの策定や個別計画の作成を進めていきたい。

問

答

今や家族の一員として大切にされている犬や猫の同行避難についてはどのように対応するか。

答

岡本総務課長

避難所内に一緒に連れて入ることはできないため風雨が避けられる安全な場所を確保するように努めたい。飼い主の方にも



キャリーバックも準備して

色々な点で配慮をしていたきたい。

新型コロナウイルス ワクチン接種について

問

高年齢層での高い接種率に比べて若年層での接種率は低かった。要因の分析はできているか。

答

塚田保健課長

高齢者の約90%に比べ20代以下では70%未満と接種率が低下している。副反応への不安などで接種を見合わせている方もある。

問

また、仕事や進学で町外に居住し帰省できない方、中高生では保護者の同伴が必要だが都合が合わないこともあったと考えられる。

答

町職員、教職員・保育園などの職員は

あると考えるが接種率はどうか。また、放課後児童クラブの指導員も同様であると考えがどうか。

答

山本町長

市町村の業務は、住民の方と接する機会が大変多いため職員からの感染は絶対にあつてはならない。根拠のない情報に惑わされず、公務員としての職務や責任感を考え、できる限り接種してほしい。

答

子育て推進課長

指導員の接種率は75%であった。任意接種とはいえ職種の立場を充分認識し、児童・保護者の感染防止の意識を高める。保護者が安心して児童クラブに預けていただけるように啓発を続けていく。

職務上町民と多く接する立場にある。公務員としての職務倫理や感染予防の観点からも接種が必要で



西山 宗弘

問

有害鳥獣対策について

答

地域ぐるみでの対策が重要

問

有害鳥獣に対する農作物への被害はここ数年増え続けている。町としては猟友会にお世話になりながら、電気柵やワイヤーメッシュなどの補助金など、色々な対策を講じてきたにも関わらず、増えることはあっても減ることはない状況が続いている。

町長は、子どもからお年寄りまで住みよい町づくり、そして中山間地域の農業の発展、農業立町などを柱としている中、他の県や他の市町村にないような施策、そして町に合った有害鳥獣対策に力を注いでいたいただきたいが、町長の考えを尋ねる。

答

山本町長

議員の言われるとおり色々な策をやっているが、根本から駆除するというに至っていないのが現状である。猟友会の方には、実施隊として先頭に立って毎日のように出勤して、イノシシだけでなくサル、シカ、カラスといった有害鳥獣を駆除していただ

いている。このことに対し深く感謝申し上げるところである。先ほども言ったように、行政主導の捕獲や個人での有害対策では根本的な効果が現れていない。今後は行政もやるが、住民の集落単位で駆除を進めなければならぬと考えている。集落間で大きな面積を囲むという発想でお願いしたい。また、もうひとつは、やはり里山管理ということもある。荒れている山々の清掃をするとか、山の農地の境を伐採して綺麗にするな



苦勞の甲斐も一夜にして

どの対策も大事だろうと思つてい。ぜひ、行政と住民の方々が一緒に有害鳥獣対策に当たっていかなくてはと思つている。

吉備中央町は県下でも有数の中山間交付金の実施町である。そうしたそれぞれの組織が、エリアを一体的に囲むという方向性は本当に大事であり、ありがたいと思つている。町としてもそのような活動には、しっかりと応援させていただこうと思つている。

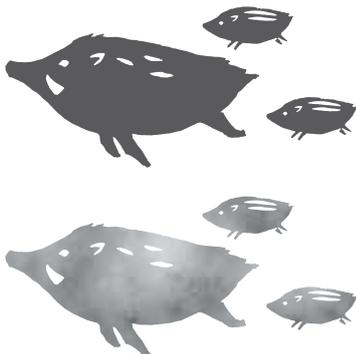
また、そういう方法と併せて、ドローンを使うなど先進的な取り組みを勉強して、吉備中央町に合ったものを取り入れていかなければならない。また、そのような情報があつたら農家の方々に情報提供することも大事であらうと思つている。

私も吉備中央町は農業立町というのは紛れもないことと思つている。農業で心

豊かに生計を立てられるというのが農業立町である。今後もあるんな方策を研究しながら、有害鳥獣対策に当たっていききたいと思つている。



防護柵もなんのその



今後のふるさと米出荷数量の見通しは

引き続き現状維持に努める



丸山 節夫

問

答

き現状維持に努力する。

米作り農家
所得安定対策

問

今年産米の全ての品種に係る一般販売価格の大幅な下落は、米作り農家に危機的影響を及ぼした。今後の所得安定に繋ぐ対策と方針を問う。

答

山口農林課長

来年度は米需要は依然、厳しい状況が続くと考える。米価の下落低減対策として、安定した交付金収入が得られる飼料用米や大豆などの町の産地交付金対象作物の推進により、経営所得の安定化を図る。

米粉用米対策・複数年契約の見直し

答

農林課長

需要の落ち込みは、今年産と同数の受け入れは困難と考える。また、来年度からの新規取り組みに制限がかかる可能性を生じる。

トップセールスの
取組み

問

コロナ禍の影響で、町の産業は大きく変わろうとしている。活性の源として、町長自ら町の農畜産物や特産加工品を売る役割を担うべき、トップセールスの取り組みと必要性を問う。

答

山本町長

町のリーダーが、企業訪問や商談会へ参加し、町ぐるみで特産品の流通拡大に取り組む姿勢は大事である。なにより行動を起こし、町の特産品を売り込み、町のPRはしっかりと進めていきたい。

吉備高原イノベーション
ンヒルズ構想

問

事業の見える化を図り、行政が取り組む姿勢をより具体的に示す必要がある。多額の財源を要した構想が町民の創生事業となることを強く望むが、対する見解を問う。



吉備高原の活性化にひと役

答

町長

旧ニューサイエンス館に新たな命を吹き込み、当地から多くの起業家を生み出す構想を町は応援している。是非とも当初の目的を達成し、吉備高原都市の活性化や新たな道を開くものと確信する。

その他、ふるさと米の寄付状況や米価格低下対策、イノベーションヒルズ構想の詳細を問う

答

根本協働推進課長

今年度は、昨年に増して11億2千万円の寄付額となったが、新型コロナウイルスの影響による所得の減少は、ふるさと納税に与える影響も少なくない。引き続き

問

コロナ禍による経済の低迷は、今後の寄付者、金額の減少傾向が最も懸念される。農家経営の厳しい現状を踏まえ、今後のふるさと米出荷数量の推移を問う。

問

米粉用米が
急増した場合

主食用米価格の下落は、来年度の取り組み急増の可能性を感じる。急増した場合の取り扱いを問う。



日名 義人

問

産廃業者破産後の対策は

答

適正処理を県民局に働きかける

問 4月末に『産廃処理業者の破産申請（広面）』が判明し、慌てて町は住民立ち合いのもと赤線道保全に向け境界線の測量を実施した。しかし、数か月経過した現在も資材、有価物と称して産廃の山積みがそのまま放置されており、住民の安全・景観さらに新土地所有者の継続活用が危惧される。原状復帰及び当事者が応えない場合、代執行を含めた今後の対策を尋ねる。

答 **山本町長** 倒産・土地所有者の変更及び管財人などについて事実確認する。残された産廃、赤線道に放置された不要物などの適正な処理を県民局に働きかけている。また、新土地所有者の継続活用の情報はない。

県と当事者間の連絡はついていると聞くので、作業の日程が決まれば町としても立ち合って確認していく。

新規就農者確保

問 田園回帰に応える地域づくりが重要性を増す中、移住者が本町を選んだ動機から見えたこととは何か、尋ねる。

答 **山口農林課長** 後継者は故郷への愛着と受け継がれて来た農地の継承、移住者は災害が少なく豊かな自然と農業への魅力などが動機だ。移住・定住者との座談会からは、子育てしやすい環境・町の支援策、手厚い少人数教育及び地域の人の温かさなどがその動機要因と考えている。

また、住民の意見を聞きながら課を超えた連携で「住んで良かった」と言っていただけの町を目指す。

住民参加の
総合地域政策

問 国の基本計画では、産業政策とともに新たな地域政策が重視されている。

役場内の課を超えた横のつながりで英知を結集させ、住民参加で総合政策、対過疎計画を活かしながら具体化を図るべきと思うが、現在の考えを尋ねる。

「移住者は小規模学級できめ細かい濃密な教育に魅力を感じて移住してきた。町から転出する住民も出てく

答 **町長** 都市部と同じサービス（スーパーシティ）を自然豊かな本町でも目指している。



スーパーシティ構想

学校再編は慎重に

問 小学校等の魅力を考える会における意見に「コロナ禍の情勢が不安定な時に再編を急がず、当面現状のまま、少子化対策などを優先」あるいは「移住者は小規模学級できめ細かい濃密な教育に魅力を感じて移住してきた。町から転出する住民も出てく

る」などの声が聞こえてくる。こうした声にも耳を傾け、慎重に皆様が納得いく再編にすべきと考えるが見解を尋ねる。

答 **石井教育長** 個別の希望に偏らず、統計に基づく判断も必要と考える。

ある程度の集団の中で切磋琢磨できる環境を整える必要がある、子どもたちの将来を考えると統合は避けられなく、今がその統合決断が必要な時期であると、ご理解いただきたい。



ともだち増えるといいな

スーパーシティの施設整備は

地域の意見、要望も聞きながら



石井 壽富

問 吉備新線沿いの支障木伐採については、県の理解により、一部区間において実施され、見通し、景観がよくなったが、今後の実施計画について尋ねる。

吉備高原小学校隣の中学校予定地においては、進入路の移設や用地の一部舗装が予定され、安全性と利便性が向上するが、なお、用地の大部分は手つかずのままである。そこで、活用方

法のひとつとして、公民館など、総合的な施設整備を提案する。現在では、小学校の一部施設を活用した公民館はあるが、やはり、町の中心地であり、また発展の可能性を秘めた吉備高原都市にふさわしい機能、役割をもった、一定規模のスーパーシティ構想の中に位置づけた施設整備が必要と考えるが。

答

山本町長

支障木伐採については、国立吉備青少年自然の家から吉備高原大橋に向けて、支障木だけでなくある程度広範囲に伐採されたので、すっきりと景観もよくなった。県に対して引き続きお願いをしている。中学校用地における今後

の整備計画について、県は昨年度サウンディング調査をおこなったが、具体的な活用案は出ていない。議員提案の防災設備が付随した公民館、複合施設整備は大変興味深く、面白い提案だと受け止めた。地域の意見も聞きながら、吉備高原都市の活性化につながる活用を県に協議していききたい。

企業誘致

問

吉備高原都市産業区では、全ての区画において企業立地が実現した。そこで、吉備高原都市後期計画地を活用しての、次の工業団地の整備が必要ではないか。また、Eゾー

ン（残土埋立地）の活用について、現在での計画について尋ねる。

答

町長

産業区の区画はすべて完売となり、現段階では企業誘致を進める区画がないという状況。今後は、Eゾーン用地の活用を県にしっかりと要望していききたい。

ものすごい発想を持って大きな事業を行う若者は多い。しっかりと体制を整えて来ていただけるよう努めたい。

有害鳥獣対策

問

有害鳥獣による被害が、今年はこのほか激しいと聞く。特に最近、ピンク色のテープが張り巡らされた農地を目にする。このテープ購入に対する補助、制度拡充の考えはないか。また、有害鳥獣被害防止を専任的に研究する職、部署を設置する考えはないか。

答

町長

鳥獣による農作物への被害は増加している。猟友会の協力を得て捕獲駆除もおこなっているが、根本的な解決には至っていない。テープ購入に対する補助については、効果があるのであれば補助事業の中に組み込んでいきたいと思う。防護柵を設置している方は、共同設置や補助制度を活用して設置していたければ有り難い。専門部署については、情報収集能力を高め、農林課でしっかりと対応していきたい。



動きだす新産業



山崎 誠

問

異臭水道水はなぜ発生したのか

答

アオコが大量発生

問 水の供給は命に
関わる最も重要な
ライフラインである。6
月初旬から竹谷浄水場の
水道水に異臭が発生し、
3カ月になるうとしてい
る。経過と原因、事後の
対応はどのようなか。

答 **山本町長**
今回発生した異臭
は長期にわたっており、大
変ご迷惑をかけ深くお詫び
します。

異臭は6月初旬利用者か
ら数件の苦情があり調査し
た。結果、竹谷ダムの原水
(貯水)に藻の一種である
アオコが大量に発生し、分
泌する成分が異臭の原因と
判明した。何回も水質検査
をおこない、飲用可能であ
ることは確認した。対策と
して、広域水道からの緊急
受水、浄化設備の点検・洗
浄、アオコの吸引除去もお
こなった。最終的に活性炭
ろ過装置を設置し9月10日
復旧した。

問 竹谷浄水場からの
供給は何戸か。今回
の異臭復旧に要した経費は。



移転設置された活性炭ろ過装置

答 **高森水道課長**
供給戸数は704
戸。経費の概算は、アオコ
の吸引165万円、水質検
査333万円、ミネラル
ウォーター代20万円、活性
炭ろ過装置の移転設置に4
400万円、全体で492
9万円を見込んでいます。

問 吉備高原の地盤の
安全性が改めて見直
されている。先日、岡大の
研究グループは、吉備高原
の地盤は約1億1000万
年前から地殻変動の影響を
受けず安定していると発表
した。首都直下型地震が懸
念されている今、首都機能
の全面移転は無理として
も、国立公文書館など国の

吉備高原に国の
データセンターを

重要なデータの保管地とし
て強くアピールすべきでは
ないか。

答 **町長**
吉備高原の強固な
地盤は大きなメリットであ
る。国は5箇所ほどのデー
タセンター設置を考えてお
り、働きかけていきたい。

問 吉備高原都市の利
便性向上のためには
吉備新線(県道72号)の全
線4車線化が必要である。
岡山空港付近から都市入口
まで約16kmの4車線化実現
に向け「期成会」を設立し、
強力に取り組むべき時期で
はないか。

答 **町長**
吉備新線の期成会
はもともとあったが、岡山
市が政令市になり離れ解散
した。関係のある高梁市、
新見市、真庭市にも入って
いただき期成会を作るのも
一案と思う。

ヤングケアラーの
相談窓口設置を

問 病気や障害のある
親や高齢家族の介

護、家事を担う18歳以下の
「ヤングケアラー」が大き
な社会問題となっている。
今年4月、厚労省、文科省
の連携調査で、中学生で
5.7%、高校生で4.1%がヤ
ングケアラーであると発表さ
れた。町内にこうした状況
にある児童・生徒はいるか。

答 **塚田保健課長**
町独自の実態調査
はできていないが、要保護
児童対策地域協議会や学校
からの連絡により、ヤング
ケアラーの可能性を視野に
入れた支援をおこなってい
るケースもある。

問 ヤングケアラーは
外部に支援を求める
ことも知らず孤立している
ケースもある。相談窓口の
設置が急がれるのではない
か。

答 **保健課長**
現在、相談窓口は
設けていないが、関係個所
と連携をとりながら対応し
たい。

ワクチン接種の今後は

答

各医療機関で個別接種を



黒田 員米

町内の個別接種医療機関は、吉備高原ルミエール病院、吉備高原医療リハビリテーションセンター、賀陽クリニック、木戸医院で対応予定。

予約方法は、吉備高原医療リハビリテーションセンターは町コールセンターで、その他の医療機関は直接それぞれの病院での電話予約受付となっている。

町外接種は、県内の医療機関で、対応可能な医療機関で接種できる。その際に町への報告は不要。

②町内の自宅療養者へ県から支援要請があった場合には、町としても生活物資配達などの支援をおこなう。小学校休業等対応助成金支援金などコロナに対する

補助金・助成金を積極的に広報する。

答

石井教育長

③休業や学級閉鎖などをおこなう必要が生じた場合には、メールで保護者へ連絡するとともにスクールバスの手配もこなっている。

④遠隔授業やタブレットの利用は、夏休みまでに家庭のWiFi環境の調査をおこない、タブレットを持ち帰り、動作確認をおこなうなど各学校で準備が進んでいる。

対面授業とタブレット授業を継続し、今後も休業などの登校が制限される場合にも、学習に不利益が生じないよう努める。

⑤自宅でのWiFi環

境は、ほぼ全ての家庭で整備されたが、未整備家庭に對しては、町の補助事業の紹介をおこなうと同時に、学習内容のプリントを個別配布するなど対応をおこなっている。

⑥感染症に対する不安から欠席する児童・生徒については文部科学省の対応ガイドラインに従い、出席停止措置として欠席扱いとはしない。また、児童・生徒には保護者を含めて、定期的な声かけや授業内容のプリントなどを作成し学習の機会を維持している。

問

町道の維持管理
地域住民による町道の草刈りが限界を迎えている。

支障木撤去に必要な特殊車両を操作員含み派遣



草刈り機だけではもう限界

答

高見建設課長

作業の安全性を考慮し、高所作業車などの貸出し、及び操作員派遣について委託やリースなど、どのような方法が適切か研究をする。

放課後児童クラブの

運営

問

家賃・光熱水費が公共施設利用と民間施設利用では負担額が違う。公平化を図り平等な運営体制の基盤を創るべき。

答

富士本子育て推進課長

公費負担については、各クラブに対して平等であるべきで、不公平にならないよう前向きに検討する。



成田 賢一

生活困窮者の支援にフードバンクを 視察・調査し検討する

問 町第二次総合計画にはSDGsとの関連性が記載されている。SDGsには「飢餓をゼロに」「つくる責任つかう責任」の目標があり、農業が盛んな町だからこそ、食品を共有し合い皆で支え合うことが大切なのでは。食品を活用した生活支援活動であるフードバンクが各地でおこなわれている。町内に、生活支援を受けている世帯は何世帯あるか。また、フードバンクを開始し、このような世帯を支援してはどうか。

答 児童扶養手当の受給73世帯、生活困窮者相談支援事業19世帯、食料支援が必要な世帯は30世帯である。町では、生活困窮者生活支援ネットワーク会議を定期的に開催している。フードバンクについて、同会議で多くの方からぜひ取り組むべきとのご意見をいただいております。先進地への視察、現状把握、調査をおこない、検討していきたい。

定住促進

問 町の人口は平成2年度は1万5111人、令和2年度は10894人であった。人口減少への見解は。

答 第二期のまち・ひと・しごと総合戦略において、2060年に人口規模8300人を目標に掲げている。各施策の取り組み効果はまだ数字に表れてなく、政策の見直しを図り、効果のある施策をおこなっていききたい。

問 学校等の適正配置に関し、小規模校を好んで移住してきた子育て世帯の声はどのように拾い上げてきたのか。国土交通政策研究所は、山間部の1000人規模の集落に毎年1世帯+男女2人が移住、または流出抑制できれば小中学校を廃校せずに維持可能との推計を発表している。この数字を皆で共有することが学校の適正配置や

地域を維持して人口を増やすには大切ではないか。

答 保護者説明会、アンケート、保護者代表を交えた会議などをおこなっており、ホームページ、広報誌、報道機関を通じて議論の状況を伝えている。詳しい数字についてはお答えできないが、手厚い指導や地道な努力をしていくことこそ、町の良さにつながっていくと考えている。



増やそう、この笑顔

問 地域おこし協力隊の定住率を高めるために、地域課題を明確にし、その解決に向けて地域の方々と一緒に汗をかける人材を募集すべきではないか。また、そのサポート役として、集落支援員制度を活用してはどうか。

答 地域との深い結びつきにより課題解決に結びつけば素晴らしいことであり、どのような配置が適切であるか検討していきたい。集落支援員制度の活用による協力隊との共同活動については研究をしていきたい。

問 町内では、買い物支援や移動手段の確保など住民が様々なことを考えている。町民の意欲を高めていくことは対外的に町のPRになり、移住につながることもあるのではないか。小さな拠点づくりへの補助金交付規則を整備して、町民が活動しやすい環境を作るべきでは。

答 片岡企画課長 地域住民自らが地域課題解決への研究を始めているのは大変うれしい。地域の意見などを聞きながら効果的な支援策を考えていきたい。

その他、不妊対策事業、ふるさと納税による観光振興を問う。

スーパーシティー構想の進捗は

採択結果は年内にも



加藤 高志

問 年度当初に申請したスーパーシティー構想、採択結果時期などを含め、現在までの主立った進捗及び不採択だった場合の創生につながる独自政策について、町民皆様へこの開かれた議会から発信すべく答弁を求めます。

答 8月に区域指定に関する専門調査会が開催されたが、大胆な規制改革提案が乏しく優劣つけ難い

と、提案した全ての自治体に対し、見直しを求められている状況。
町としても、現在アーキテクトの方を中心に、岡山大学をはじめとした連携事業者とともに、医療を中心として取組事業のブラッシュアップをおこなっている。

今後のスケジュールについては、内閣府から詳細なスケジュールは示されていないが、年内あたりに区域指定がおこなわれる自治体が決定するのではないかと思っている。
不採択だった場合、我々はこの期間に岡大をはじめとする多くの支援者、また教育団体などともつながりができた。このつながりを

無にすることなく、まずは医療体制の充実を図るなど、町民の皆様がより安心して生活できるまちづくりを目指し、できることから取り組んでいきたいと思っている。

イノベーションヒルズ構想

問 イノベーションヒルズ株式会社が掲げた構想の進捗について、住民の方々からも「3年以上経過しているが、進捗状況が見えてこない」という意見が寄せられる。企業内、部干渉にならない範囲で、現在の進捗などについて尋ねる。

答 荒谷定住促進課長 地方創生交付金を

受け、令和元年度からイノベーションヒルズ協議会を立ち上げ、構想の核となる国際オープンイノベーションセンターの自走を目指して、昨年度までに集めた基礎的技術や情報を基に新規事業をこれから起こしていく状況。

国際オープンイノベーションセンターに関しては、令和4年度からは公費補助なく運営主体となるイノベーションヒルズ株式会社によって運営され、同社の掲げた構想が進められていくことになる。
また、住民の方々から「見えない」と評価されなかっためにも、今後は町民との直接対話などにより事業内容や進捗状況の周知、また、



皆様の声を聞かせていただけよう機会も設けた。地域への広報を実施していくよう、協議会に対し申し入れる。

埋葬形式の多様化

問 近年、埋葬に関し海・山に帰りたいなど、自然回帰志向の増加により埋葬形式も多様化している。中でも「樹木葬」が注目されており、公営の霊園も増加傾向にある。吉備中央町においても地の利を活かすべく導入を検討・研究できないか尋ねる。

答 岡本総務課長 樹木葬への関心が集まっていることも事実だが、吉備中央町墓地条例施行規則に照らし合わせると、現在の規則では樹木葬の形態を導入することができない規定となっている。
しかしながら多様化する志向現状とニーズをかんがみ、樹木葬の導入について、まずは研究をしようと思う。

へそ8バス 10月1日より運行開始

町内巡回バスの実証運行が始まりました。おもな経由地以外でも、安全な場所であれば、乗降可能となります。このページでは、へそ8バスを利用して隣接した市街への乗り継ぎをご紹介します。

へそ8バスの愛称と共に住民みなさんの日常の足として愛され、将来の町交通機関の主力になれるよう期待がかかっています。どうぞ、御利用ください。



岡山市方面への乗り継ぎ例

①町営バス「きびプラザ～岡山医療センター線」〈町内→町外〉

町内巡回バス (円城→豊岡回り)		→	岡山医療センター線
きびプラザ 発	きびプラザ 着		きびプラザ 発
7:30 (A1便)	8:40 (A1便)		8:45
町内巡回バス (豊野→大和回り)			
きびプラザ 発	きびプラザ 着		
7:30 (B1便)	8:38 (B1便)		

〈町外→町内〉

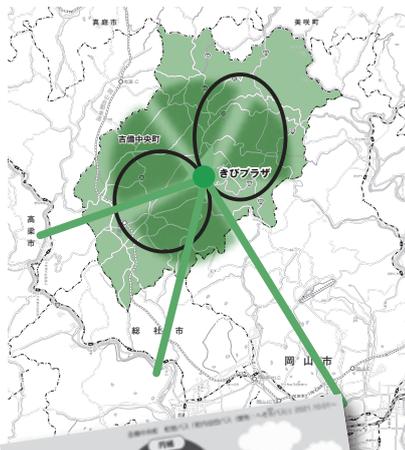
岡山医療センター線		→	町内巡回バス
岡山医療センター 発	きびプラザ 着		きびプラザ 発
12:40	13:15		14:10 (A3便) 14:10 (B3便)
14:40	15:15		15:30 (A4便) 15:30 (B3便)

②中鉄バス(株)「リハビリセンター～天満屋バスC線」〈町内→町外〉

町内巡回バス (円城→豊岡回り)		→	中鉄バス (天満屋行)
きびプラザ 発	きびプラザ 着		きびプラザ 発
7:30 (A1便)	8:40 (A1便)		9:00
町内巡回バス (豊野→大和回り)			
きびプラザ 発	きびプラザ 着		
7:30 (B1便)	8:38 (B1便)		

〈町外→町内〉

中鉄バス (吉備リハ行)		→	町内巡回バス
天満屋バスC 発	きびプラザ 着		きびプラザ 発
13:40	14:43		15:30 (A4便) 15:30 (B3便)



総社市方面への乗り継ぎ例

①中鉄バス(株)「宮前・妙仙寺～総社駅線」〈町内→町外〉

町内巡回バス (大和→豊野回り)		→	中鉄バス (総社駅行)
きびプラザ 発	大和郵便局付近 通過時刻		大和郵便局バス停 発
8:50 (A1便)	9:12 (A1便)		9:28

〈町外→町内〉

中鉄バス (宮前・妙仙寺行)		→	町内巡回バス (大和→豊野回り)
総社駅 発	大和郵便局バス停 着		大和郵便局付近 通過時刻
8:27	9:05		9:12 (A1便)
中鉄バス (宮前・妙仙寺行)			町内巡回バス (大和→豊野回り)
総社南高北 発	湯山口 (下竹) 着		下竹荘公民館 通過時刻
16:50	17:44		17:49 (A4便) (→17:58終点きびプラザ着)

高梁市方面への乗り継ぎ例

①備北バス(株)「吉川・神原～高梁駅線」〈町内→町外〉

町内巡回バス (大和→豊野回り)		→	備北バス (高梁駅行)
きびプラザ 発	正力バス停付近 通過時刻		正力バス停 発
8:50 (A1便)	9:25 (A1便)		10:03

②備北バス(株)「東村・大和～高梁駅線」〈町内→町外〉

町内巡回バス (豊野→大和回り)		→	備北バス (高梁駅行)
きびプラザ 発	大和郵便局付近 通過時刻		大和郵便局バス停 発
7:30 (B1便)	8:16 (B1便)		9:05

〈町外→町内〉

備北バス (東村・大和行)		→	町内巡回バス (豊野→大和回り)
高梁駅 発	大和郵便局バス停 着		大和郵便局付近 通過時刻
7:45	8:12		8:16 (B1便)



追跡

あの時の質問
どうなった？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。(令和3年3月定例会の質問)



Q 質問

SNSを活用した発信力のある広報を検討しては。また、広報紙を充実するために他自治体の良点をリサーチしては。

A 答弁

SNSを活用し積極的に情報の拡散を図る。広報紙は、他自治体の広報紙の良いところを倣い魅力あるものになるようにする。

現 状 (企画課)

現在は消防・防災情報が主になっているが、LINEを開始し、情報発信をおこなっている。町外への情報発信としてInstagramなども検討していきたい。
広報紙は、紙面の構成など他自治体の広報紙の良いところを参考にし、読みやすく魅力ある紙面づくりに努めている。また、二次元バーコードを活用して、手軽に多くの情報を取得できるようにしている。

Q 質問

高齢化により草刈り作業が負担になっている。芝養生による取り組みはどうか。

A 答弁

作業の効率化、負担軽減のため令和3年度に町内圃場で実証実験を進める。

現 状 (農林課)

備前広域農業普及指導センターと連携し、町内農業生産法人ほ場(吉川)にて、6月からカバープランツの植付作業をおこない、法人に管理してもらった結果、9月中旬頃で畦畔に8割以上カバープランツが被覆していた。畦畔管理における効率化や省力化の効果を測定していき、集積したデータのまとめをおこなう。新型コロナウイルス感染症の情勢を考慮しながら、カバープランツに関する研修会の開催時期を検討している。



編集後記

不順な天候に農作物の作柄を心配しながら過ごした夏が過ぎ、実りの秋を迎えました。都会にはない美しく懐かしい風景を愛でながら、地元でできた新鮮な野菜や新米、果物などが安心して食べられるこの町の良さ、幸せをつくづくと感じます。

議会だよりを通じてさまざまな声を町政へと届けようとする議員の思いや、それに対する行政側の取り組みを、町民の皆さまにも知っていただけるように願っております。

(河上真智子)

